



季節 能古博物館だより

能古博物館からの眺め

島の博物館をめざして

理事長 原 寛

昨年、理事長を引き受けて以来、館の運営をどのようにすれば多くの市民の方々に来ていただけるかを、協力者の方々と考えて参りました。

幸い地元の方々のご協力を得て、「島の博物館」として能古島の歴史・伝統・文化を知るためのコーナーをつくることができました。第一展示室には今まで通り福岡の儒家である亀井家の文献や書画を展示しております。展示場が四ヶ所あり、その一つには島の史料を中心とした場所をつくりました。

能古島は昔から海上交通の要所で江戸時代、福岡藩の重要な廻船の拠点として非常に栄えておりました。今回はその頃の「五ヶ浦廻船展」(三月二十一日～五月十日)を開いております。

その他、島に黒田藩時代の登窯があるため、各地の焼物の展示もしております。

美術館もリニューアルオープンし、貸ギュラリーとしても使用できるようにになりました。今回は柳原良平先生の『船と港と海』(三月二十四日～五月五日)をテーマに明るい近代的な切り絵・版画を中心に四十七点を並べ、ポスターを作り楽しくしております。

今後は、能古博物館として年三～四回の企画展を計画しております。

今からは島が一番美しい季節でもあり、島内には案内板も立てて分かりやすくしております。

館は福岡一風明媚な場所であり、今後も、おいでいただければ十分に満足していただけるものと信じておりますので、ご来館賜りますようお願い申し上げます。

能古島の伝説

おさよ ①

昔、ある春の日の夕方のことであつた。

能古の沖を博多へと向かう一艘の廻船があつた。船は春の風を受けて順調に進んでいたが、春の風は変わりやすく、急にひどい嵐となつた。

船乗りたちは、急に襲つた嵐から船を守ろうと必死に働いた。しかし、まだ博多湾内に入りきっていないかたせいか、玄界灘の浪は小山のように船べりを叩き、帆を破り、船はついに海底のまづくつと消えた。

翌朝、うらかな能古の浜辺には、船の破片や積荷などが打ち寄せられ、それらに交じってひとりの若者が流れ着いていた。透き通るばかりの波がきらきら光る浜辺の真っ白い砂の

上に、若者はほとんど裸に近い姿で気を失つたまま横たわっていた。

船が遭難したとき、島人は流れ着いた物を集め、役人に知らせなければならぬ義務がある。

今日も、朝から島の人は子どもも女も総出で浜辺へと出かけた。

一番最初に若者を見つけたのはおさよであつた。春とはいえ、海の水はまだ冷たい。冷えきつた若者の胸に手を当て、若者がまだ生きているの

屋の自慢のたねであつた。

おさよの甲斐甲斐しい介抱の日々が続いた。若者は、その男らしい顔立ちのまま眠り続け、高熱にうなされていた。肺炎でも起こしていたのであろうか、島のたったひとりのお医者様が、明日まで命が保つかどうか、と言つて帰つた日など、おさよは一睡もしなかつた。

おさよの家の庭の桜が咲き、その影が座敷の障子に暖かく映つて、小鳥のさえずりものどかな日、それは若者の遭難の日から七日ばかり過ぎた日であつたが、若者はようやくして目を開いた。しかし、まだ口もきけず、ましてや起きることもできなかった。ただ、その目だけが、甲斐甲斐しく介抱してくれているおさよに向けられていて、時には涙が光り、感謝の心を押しさえない様子であつた。

桜が散り、つつじのころとなつた。

おさよは、障子を開けて庭の花の美しさを語り、若者の心を慰めた。若者はふとんの上に坐るくらいにまで回復していたが、時には笑い声が道行く人の耳にも聞こえることもあつた。

おさよは、能古の浦庄屋のひとり娘であつた。まだ十八になつたばかりの、島一番の器量好しでもあつた。そして、その氣立てのやさしいことも庄



3月21日 リニューアルオープンテープカット



五ヶ浦廻船、国豊丸の櫓と能古小学生達

柳原先生

と

ティタイム



平成十年三月二十四日は、柳原良平先生を囲んでのティパーティが当館美術館で行われました。

柳原先生に昔懐かしい「アンクル船長」を描いていただいた方も多勢おられました。

今、柳原先生が描かれた能古渡船場の油絵や、能古島の切り絵等四十七点が展示販売されています。



柳原良平先生と夫人

《法人協賛会員》

医療法人原土井病院 原吉通 寛
医療法人笠松会有吉病院 有吉通 泰
福 昭 砂 屋 殿村 禎 三

博 多 ち 鉄 工 山 本 哲 夫
博 多 ち 鉄 工 山 本 哲 夫

大 牟 田 運 送 組 笠 尾 忠 助
大 牟 田 運 送 組 笠 尾 忠 助

(有)愛光ビルサービス 野田和禰
(有)愛光ビルサービス 野田和禰

(有)クリーン開発 野田和禰
(有)クリーン開発 野田和禰

(有)安河内商店 安河内紀男
(有)安河内商店 安河内紀男

福岡桜坂郵便局 鬼鞍信孝
福岡桜坂郵便局 鬼鞍信孝

福岡能古郵便局 西方 忍
福岡能古郵便局 西方 忍

商業コンサルタント 金尾敏郎
商業コンサルタント 金尾敏郎

井本医科器械(株) 井本修正
井本医科器械(株) 井本修正

日清医療食品(株) 福岡支店
日清医療食品(株) 福岡支店

(株)奥 電 村 組
(株)奥 電 村 組

(株)東 邦 電 企 画 工 組
(株)東 邦 電 企 画 工 組

(株)福岡経営管理センター
(株)福岡経営管理センター

(株)サ 江 頭 会 社 工 業 病 院
(株)サ 江 頭 会 社 工 業 病 院

医療法人社団江頭会さくら病院
医療法人社団江頭会さくら病院

医療法人大乗会福岡リハビリテーション病院
医療法人大乗会福岡リハビリテーション病院

医療法人恵光工業病(株)院
医療法人恵光工業病(株)院

須 賀 工 業 病 院
須 賀 工 業 病 院

《協賛会員》

松 本 盛 二 南 誠 次 郎
松 本 盛 二 南 誠 次 郎

中 山 重 夫 片 桐 寛 子
中 山 重 夫 片 桐 寛 子

菅 直 登 早 船 正 夫
菅 直 登 早 船 正 夫

浄 満 寺 奥 村 宏 直
浄 満 寺 奥 村 宏 直

笠 井 三 荒 木 村 宏 直
笠 井 三 荒 木 村 宏 直

沖 井 双 葉 安 陪 木 村 宏 直
沖 井 双 葉 安 陪 木 村 宏 直

亀 井 准 輔 滝 栄 三 郎
亀 井 准 輔 滝 栄 三 郎

《友の会会員》

立 石 武 泰 熊 谷 雅 一
立 石 武 泰 熊 谷 雅 一

玉 置 貞 正 石 橋 觀 子
玉 置 貞 正 石 橋 觀 子

西 嶋 洋 子 多 々 羅 湖 水
西 嶋 洋 子 多 々 羅 湖 水

岡 部 六 弥 太 矢 熊 富 謙 治
岡 部 六 弥 太 矢 熊 富 謙 治

星 野 万 里 子 石 野 智 恵 子
星 野 万 里 子 石 野 智 恵 子

桑 形 シ ズ エ 多 々 羅 湖 水
桑 形 シ ズ エ 多 々 羅 湖 水

安 松 勇 一 矢 熊 富 謙 治
安 松 勇 一 矢 熊 富 謙 治

高 田 浩 二 矢 熊 富 謙 治
高 田 浩 二 矢 熊 富 謙 治

藤 木 充 子 矢 熊 富 謙 治
藤 木 充 子 矢 熊 富 謙 治

坂 木 義 弘 矢 熊 富 謙 治
坂 木 義 弘 矢 熊 富 謙 治

鬼 塚 洋 一 矢 熊 富 謙 治
鬼 塚 洋 一 矢 熊 富 謙 治

片 岡 敏 夫 矢 熊 富 謙 治
片 岡 敏 夫 矢 熊 富 謙 治

橋 本 洋 夫 矢 熊 富 謙 治
橋 本 洋 夫 矢 熊 富 謙 治

都 筑 久 馬 矢 熊 富 謙 治
都 筑 久 馬 矢 熊 富 謙 治

横 山 智 一 矢 熊 富 謙 治
横 山 智 一 矢 熊 富 謙 治

宮 崎 智 集 矢 熊 富 謙 治
宮 崎 智 集 矢 熊 富 謙 治

岡 本 金 蔵 矢 熊 富 謙 治
岡 本 金 蔵 矢 熊 富 謙 治

星 野 金 蔵 矢 熊 富 謙 治
星 野 金 蔵 矢 熊 富 謙 治

伊 藤 道 茂 矢 熊 富 謙 治
伊 藤 道 茂 矢 熊 富 謙 治

西 島 龍 一 矢 熊 富 謙 治
西 島 龍 一 矢 熊 富 謙 治

木 上 靖 朝 矢 熊 富 謙 治
木 上 靖 朝 矢 熊 富 謙 治

村 上 雪 江 矢 熊 富 謙 治
村 上 雪 江 矢 熊 富 謙 治

吉 村 紀 子 矢 熊 富 謙 治
吉 村 紀 子 矢 熊 富 謙 治

田 上 紀 子 矢 熊 富 謙 治
田 上 紀 子 矢 熊 富 謙 治

上 田 良 一 矢 熊 富 謙 治
上 田 良 一 矢 熊 富 謙 治

桑 野 次 男 矢 熊 富 謙 治
桑 野 次 男 矢 熊 富 謙 治

和 田 宏 子 矢 熊 富 謙 治
和 田 宏 子 矢 熊 富 謙 治

行 成 静 子 矢 熊 富 謙 治
行 成 静 子 矢 熊 富 謙 治

中 畑 孝 信 矢 熊 富 謙 治
中 畑 孝 信 矢 熊 富 謙 治

石 川 文 之 郎 矢 熊 富 謙 治
石 川 文 之 郎 矢 熊 富 謙 治

山 内 重 太 郎 矢 熊 富 謙 治
山 内 重 太 郎 矢 熊 富 謙 治

斎 藤 重 太 郎 矢 熊 富 謙 治
斎 藤 重 太 郎 矢 熊 富 謙 治

古 賀 清 子 矢 熊 富 謙 治
古 賀 清 子 矢 熊 富 謙 治

西 賀 政 憲 矢 熊 富 謙 治
西 賀 政 憲 矢 熊 富 謙 治

三 宅 碧 子 矢 熊 富 謙 治
三 宅 碧 子 矢 熊 富 謙 治

吉 村 陽 子 矢 熊 富 謙 治
吉 村 陽 子 矢 熊 富 謙 治

永 岡 喜 代 太 矢 熊 富 謙 治
永 岡 喜 代 太 矢 熊 富 謙 治

神 戸 純 子 矢 熊 富 謙 治
神 戸 純 子 矢 熊 富 謙 治

山 田 博 子 矢 熊 富 謙 治
山 田 博 子 矢 熊 富 謙 治

前 田 静 子 矢 熊 富 謙 治
前 田 静 子 矢 熊 富 謙 治

吉 岡 克 子 矢 熊 富 謙 治
吉 岡 克 子 矢 熊 富 謙 治

野 田 祥 子 矢 熊 富 謙 治
野 田 祥 子 矢 熊 富 謙 治

林 野 祥 子 矢 熊 富 謙 治
林 野 祥 子 矢 熊 富 謙 治

吉 野 祥 子 矢 熊 富 謙 治
吉 野 祥 子 矢 熊 富 謙 治

黒 田 喜 美 子 矢 熊 富 謙 治
黒 田 喜 美 子 矢 熊 富 謙 治

小 川 正 幸 子 矢 熊 富 謙 治
小 川 正 幸 子 矢 熊 富 謙 治

藤 野 清 春 矢 熊 富 謙 治
藤 野 清 春 矢 熊 富 謙 治

増 田 義 哉 矢 熊 富 謙 治
増 田 義 哉 矢 熊 富 謙 治

土 井 義 哉 矢 熊 富 謙 治
土 井 義 哉 矢 熊 富 謙 治

稲 永 千 草 矢 熊 富 謙 治
稲 永 千 草 矢 熊 富 謙 治

古 川 映 子 矢 熊 富 謙 治
古 川 映 子 矢 熊 富 謙 治

衛 藤 映 子 矢 熊 富 謙 治
衛 藤 映 子 矢 熊 富 謙 治

田 代 博 史 矢 熊 富 謙 治
田 代 博 史 矢 熊 富 謙 治

執行 直 輝 矢 熊 富 謙 治
執行 直 輝 矢 熊 富 謙 治

久 芳 正 隆 矢 熊 富 謙 治
久 芳 正 隆 矢 熊 富 謙 治

岸 山 政 志 矢 熊 富 謙 治
岸 山 政 志 矢 熊 富 謙 治

葉 山 政 志 矢 熊 富 謙 治
葉 山 政 志 矢 熊 富 謙 治

岩 重 二 郎 矢 熊 富 謙 治
岩 重 二 郎 矢 熊 富 謙 治

吉 富 与 枝 矢 熊 富 謙 治
吉 富 与 枝 矢 熊 富 謙 治

井 上 敏 彦 矢 熊 富 謙 治
井 上 敏 彦 矢 熊 富 謙 治

石 橋 清 彦 矢 熊 富 謙 治
石 橋 清 彦 矢 熊 富 謙 治

原 田 種 彦 矢 熊 富 謙 治
原 田 種 彦 矢 熊 富 謙 治

伊 藤 康 彦 矢 熊 富 謙 治
伊 藤 康 彦 矢 熊 富 謙 治

鶴 田 ス ミ 子 矢 熊 富 謙 治
鶴 田 ス ミ 子 矢 熊 富 謙 治

織 田 喜 代 治 矢 熊 富 謙 治
織 田 喜 代 治 矢 熊 富 謙 治

安 永 友 儀 矢 熊 富 謙 治
安 永 友 儀 矢 熊 富 謙 治

上 田 博 矢 熊 富 謙 治
上 田 博 矢 熊 富 謙 治

木 原 貞 敬 矢 熊 富 謙 治
木 原 貞 敬 矢 熊 富 謙 治

坂 田 治 矢 熊 富 謙 治
坂 田 治 矢 熊 富 謙 治

熊 谷 雅 一 矢 熊 富 謙 治
熊 谷 雅 一 矢 熊 富 謙 治

石 橋 觀 子 矢 熊 富 謙 治
石 橋 觀 子 矢 熊 富 謙 治

貝 野 直 彦 矢 熊 富 謙 治
貝 野 直 彦 矢 熊 富 謙 治

庄 田 雅 敏 矢 熊 富 謙 治
庄 田 雅 敏 矢 熊 富 謙 治

半 山 耕 典 矢 熊 富 謙 治
半 山 耕 典 矢 熊 富 謙 治

柳 山 美 恵 矢 熊 富 謙 治
柳 山 美 恵 矢 熊 富 謙 治

川 島 貞 雄 矢 熊 富 謙 治
川 島 貞 雄 矢 熊 富 謙 治

大 山 宇 一 矢 熊 富 謙 治
大 山 宇 一 矢 熊 富 謙 治

浜 野 信 一 郎 矢 熊 富 謙 治
浜 野 信 一 郎 矢 熊 富 謙 治

隈 丸 清 次 矢 熊 富 謙 治
隈 丸 清 次 矢 熊 富 謙 治

長 八 重 子 矢 熊 富 謙 治
長 八 重 子 矢 熊 富 謙 治

奥 田 秀 稔 矢 熊 富 謙 治
奥 田 秀 稔 矢 熊 富 謙 治

寺 岡 秀 實 矢 熊 富 謙 治
寺 岡 秀 實 矢 熊 富 謙 治

塚 本 美 和 子 矢 熊 富 謙 治
塚 本 美 和 子 矢 熊 富 謙 治

上 田 博 矢 熊 富 謙 治
上 田 博 矢 熊 富 謙 治

安 永 友 儀 矢 熊 富 謙 治
安 永 友 儀 矢 熊 富 謙 治

織 田 喜 代 治 矢 熊 富 謙 治
織 田 喜 代 治 矢 熊 富 謙 治

鶴 田 ス ミ 子 矢 熊 富 謙 治
鶴 田 ス ミ 子 矢 熊 富 謙 治

伊 藤 康 彦 矢 熊 富 謙 治
伊 藤 康 彦 矢 熊 富 謙 治

原 田 種 彦 矢 熊 富 謙 治
原 田 種 彦 矢 熊 富 謙 治

石 橋 清 彦 矢 熊 富 謙 治
石 橋 清 彦 矢 熊 富 謙 治

原土井古田伊大片村住大庄松前大鳥甲樺庄市古古吉山鬼井佐益神楠大野古佐
屋上賀中藤島桐山本谷野田塚井本島野丸賀賀瀬崎丸手野尾崎憲田野尻賀々
礼嵯雷朝信英節淳吉 英健 也博美達政陽一邦義宗ッ碧 天五 猷幸敬謹木
子雄策生彦邦子二廣霞彦次清子久子也信一郎靖朗雄子山太至巖郎子治子二謙

小白田林鹿丸間田住山野中杉辻小濱田鋤守豊木西嶽小黒宮酒金鈴青櫛結平中
堀井中 毛橋所中本根崎野浦本山北本田瀬島下山村山川崎井子木木田城岡村
百重寛正光秀さ加直ず逸晶五雅富哲政祥孝嘉 正 元邦春ッ柳 津之助己也浩え
子儀治孝子雄子代之子郎子郎史夫郎宏子二穂勤昭魁治彦夫ヨ水子助己也浩え

崎佐志川黒矢高北羽福樋和池小田小宮八澤山山渡浅浅砥柳伊井吉内高小杉原
村藤賀村岩山木浦生岡口田内谷籠柳原尋 田津辺羽原綿 勢上積山芙釦仁ど康
優憲義周力保直俊征滋昌泰一一 克正紘 雅泰健秀久正 徳旦 釦男典博人生子男美り二
子明法次太久洋幸雄伸久昌宣公旭彦明一弘稔彦徳治彦男典博人生子男美り二

高井三梶久安野田坂宮熊小箕下山矢戸藤関山水熊日小井狩高松中藤宮小原原
橋上井原保恒馬中口本本柳原村下野田田 崎田石下 関上野見井牟木本 田 祐牧
信博光伸智秀康康雅雅正 勝 砂清正健和政和康 信俊豊邦信 恭 俊 治要康一子
昭己二一子一生史春信之悟喜稔雄敏義一子俊夫生章彦男毅雄一志治要康一子

(尙)(尙)川城山東樋藤原目北福浅福大宮真今松樋正清印関米坪高紫貞田竹
川内津戸口野口原田野野田井久内子村尾口崎原藤東倉井橋繁重一英和晴
島川工 次正政陽哲利 幸正邦貞 和富哲隆定太 一昌俊邦繁重一英和晴
店業雄郎治人一哉裕悟満明雄夫昇彦行彦史之郎貴修雄宏忠樹彦二雄喜

平山黒服工櫛徳井渡福小福島木党杉藤原宮柴金熊執山橋白渡平兼井芹
山崎瀬卷藤田永上辺本嶋澤内原 原野井本田子本行下本水辺井久上川
孝剛康尚 政哲哲鉄孝幸昌總雄隆正芳 五友 久敏清武厚 孝 和宗
博一寛義修俊朗夫也行雄弘年秀雄毅一涉郎和實義明久士生偉司矩範嗣

・能古博物館ご案内・

開館 9:30~17:00 (入館16:30まで)
休館日 毎週月曜
(月曜日が祝日の場合は次の日)
12月29日~1月3日
入館料 大人400円・中高生200円
交通 姪浜 能古行渡船場→フェリー(10分)
→能古(徒歩5分)→博物館
〒819-0012 福岡市西区能古522-2
☎(092) 883-2887
FAX(092) 883-2881

能古・姪浜航路時刻表

平成5年10月2日改正

| 便 | 能古発 | 姪浜発 | 便 | 能古発 | 姪浜発 |
|----|-------|-------|----|-------|-------|
| 1 | 5:00 | 5:15 | 11 | 14:30 | 14:45 |
| 2 | 6:15 | 6:30 | 12 | 15:30 | 15:45 |
| 3 | 6:45 | 7:00 | 13 | 16:00 | 16:15 |
| 4 | 7:15 | 7:30 | 14 | 17:15 | 17:30 |
| 5 | 7:45 | 8:00 | 15 | 18:00 | 18:15 |
| 6 | 8:15 | 8:30 | 16 | 18:30 | 18:45 |
| 7 | 9:00 | 9:15 | 17 | 19:15 | 19:30 |
| 8 | 10:30 | 10:45 | 18 | 20:00 | 20:15 |
| 9 | 12:00 | 12:15 | 19 | 21:15 | 21:30 |
| 10 | 13:00 | 13:15 | 20 | 21:45 | 22:00 |

※日曜・祭日は臨時増便
※各便西鉄バス接続

おことわり
「昭陽著・烽火日記」と「少栗作・
守舎日記」については、真に恐縮で
すが本誌記事の都合により後日改め
て続稿します。